高等教育コンソーシアム信州　令和2年度事業　大しごとーくin 信州 Advance

松本若者会議2020　実行委員募集！

大しごとーくin 信州 Advance

2021年2月開催予定（オンライン）

会議開催にむけ企画・運営を担っていただける実行委員を募集します

参加条件など

・高校生から概ね35歳までの方
・参加費無料、報酬等なし
・定員　20名
・活動期間：11月～３月

応募フォーム

主催：「大しごとーく in 信州　Advance」実行委員会

共催：高等教育コンソーシアム信州　　後援：信州大学キャリア教育・サポートセンター　松本市

汎濫停蓄の場づくり

深く広い学識を持っていること。「汎濫」は水が 漲り溢れること。転じて、広く物事に通じること。「停蓄」は水が長く溜まること。転じて、学識が深いことの喩え。

開催趣旨

2020年、コロナ禍によって暮らしの変化や経済的な打撃の影響が計り知れないものとなってきました。この中で、テレワークやサテライトオフィスの展開によって，都市圏の働き方や労働環境が見直され、働き方や暮らし方に新たな価値観も生まれようとしています。多くの変化と不安がある中、若者のアイデアと社会人や企業の方々が集まり、集合知と実践知をもって現在の状況を乗り越えていくため、対話と創造の場が必要だと考えました。

そこで、高等教育コンソーシアム信州では、社会人と学生の対話の場「大しごとーくin 信州Advance “松本若者会議”」を企画し、長野県での暮らしに関わる地域課題に取り組むことで、未来を創成する若者の定着を目指します。

“若者会議”は、2012年に長野県小布施町から始まった交流のまちづくりのムーヴメントです。今回は、地域団体や企業と具体的な課題について話す「場」を体験することで、より地域に関わることを意識して対話する機会を設定します。地域課題を考えることから「暮らす」ことに注目し、「信州の地域に若者が関わる『流れ』をつくる」ことが目標です。

新たな仕組みの構築のため、今回松本市のご支援をいただき、地域課題を扱う対象地域（会場）を「松本」としました。若者会議をきっかけとして、地域の認知度がより深まり、対話を通じて地域課題を自ら取り組むことで関りがなかった地域により強い「繋がり」が生まれ、地方創生を推進する人財基盤が構築されることを期待しています。

実施時期： **2021年2月の2日間**

プログラムイメージ

1日目（インプット）キーノートスピーチ

カンファレンスやイベントを貫くテーマ、あるいはセッションやプログラムの底流にある方向性やトーンを参加者に示す）で、若者に考えてもらい全体テーマについてインプット。その後、参加者によるトークセッションを行う。

2日目（アウトプット）テーマ選択をして、学生と社会人が対話をしながら課題について考える。

松本各地で議論し、最後に各テーマのまとめをして発表。全体で共有する

対象：コンソーシアム加盟の10大学の学生，県内企業，社会人

人数：分科会（Districts）に参加する企業・学生：60名を想定

実施方法：オンライン（ZOOM）での開催を想定、可能であれば対面実施

主催：「大しごとーく in 信州Advance　松本若者会議2020」実行委員会

共催：高等教育コンソーシアム信州

後援：信州大学キャリア教育・サポートセンター　松本市